

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	公民館	コード	作成者	役職	中央公民館長
		03-02-04	氏名	松本武彦	
			電話	64-1133	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	生涯学習の活動拠点として、市民が気軽に利用できる場を提供する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	生涯学習の活動拠点である公民館は、地域間の融和を図る役割が大きい。このため、3館(中央公民館(備前地域公民館)は、吉永地域公民館と日生地域公民館)及び13地区公民館は連携を図りながら、地域のニーズや課題を把握するとともに、公民館で築き上げた文化事業を中心に「市民が主役の公民館活動」を行っていく必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の整備・充実</li> <li>指導者の養成・文化活動の充実</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

施策構成事務事業の評価		担当課長評価						優先順位		
施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)							
			H17		H18		H19			
		事業分類	直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	その他	
1	市民センター管理運営事業	市民センター管理運営事業	維持管理	28,464		25,439				
		県冷凍設備保安協会会費	ソフト事業	19	16,100	19	9,660			
		公立文化施設協議会会費	ソフト事業	35		35				
2	市民会館管理運営事業	維持管理	12,643	5,095	10,081	7,905				
3	地域公民館管理事業(吉永)	維持管理	8,601	2,325	7,229	3,657				
4	地区公民館管理事業(日生)	維持管理	7,672	4,570	5,889	4,600				
5	自治公民館等整備事業(備前)	ソフト事業	3,475	3,510	11,030	1,740				
6	自治公民館等整備事業(日生)	ソフト事業	478	2,095	1,646	1,585				
7	自治公民館等整備事業(吉永)	ソフト事業	116	540	312	616				
8	中央公民館運営事業	中央公民館運営事業	ソフト事業	726		440				
		文化協会補助金	ソフト事業	920		400				
		県公民館等振興会市町村負担金	ソフト事業	60	15,000	42	6,620			
		県文化連盟会費	ソフト事業	30		30				
		中央公民館運営審議会事業	ソフト事業			136				
9	地域公民館運営事業(日生)	地域公民館運営審議会事業	ソフト事業	136		78	728			
		地域公民館運営事業	ソフト事業	2,597		2,651	6,554			
		立志式	ソフト事業	0	17,275	354	728			
		市民講座	ソフト事業	1,948		1,377	5,098			
		文化祭	ソフト事業	194		78	1,457			
10	地域公民館運営事業(吉永)	地域公民館運営審議会事業	ソフト事業	65		4	228			
		市民講座	ソフト事業	2,767	7,015	2,353	4,871			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	198,665	183,650	

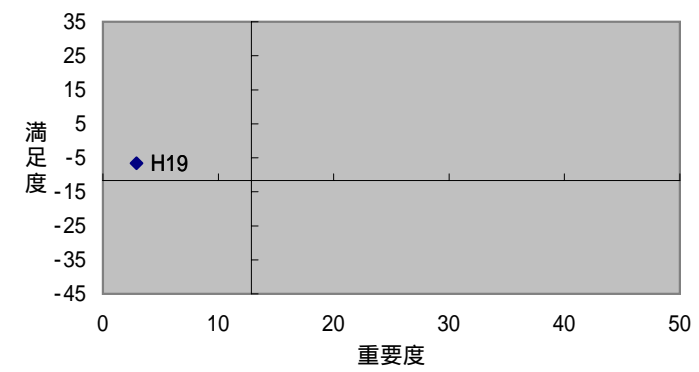
以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
人権啓発課	男女共同参画に関わる事業	公民館の利用者と同じ人が多く、日程等の調整が出来る。

施策の評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
項目	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	3館全体的利用者数は前年より増となっているが、備前と日生は、市民センター及び市民会館に併設していることから、営業・有料使用も含まれており、公民館関係の利用増とは一概には言えない。	3	市民意識調査を見る限り、目的が達成されているとは言えない。多様化する市民のニーズにどのように対応していくか検討が必要。
2 事業構成の適当性	3	自治公民館等整備事業については、日生地域公民館関係は要綱に該当していないので早急に整備する必要がある。講座の開設については、3館でそれぞれ特色ある講座を行っているが、地域的なこともあり現状ではやむを得ない。また、地区公民館の整備で十分な館があるが、厳しい財政状況では対応はなかなか出来ない。	3	中央公民館としての役割、また地域公民館、地区公民館等、それぞれの地域の歴史や文化を考慮し、バランスの取れた事業の構成・展開が必要。
3 施策の有効性	3	備前地域公民館は市民センター内に併設していることから、センターの管理運営費のウエートが大きいため公民館事業は極少である。さらに、7地区公民館も管理運営費がほとんどである。日生、吉永地域公民館は、合併前から公民館事業にかなりの予算が配分されており、合併後も今のところ継続している。講座については、引き続き恒例化、同人化、高齢化が目立っている。	3	各種事業や講座等で、マンネリ化、同人化、高齢化が見られる傾向を踏まえ、指導者の育成、講座の自立化を促し、運営主体を市から民間、地域へシフトしていくべき。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		合併後の公民館のあり方について、いつまで現体制でいくのか検討し、3館のアンバランスな事業内容を調整する必要がある。講座については、マンネリ化、同人化、高齢化傾向が引き続き見られる。長く行っている講座については、自立指導するよう促すとともに、新しい講座の企画を勧める。		中央公民館をはじめ、各地域公民館や地区公民館の施設・機器類等の老朽化に伴う施設整備を計画的、年次的に実施する必要がある。
二次評価者コメント		より効率的な管理運営に努める。		平成20年度 予算の方向性  減配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	2.9		
満足度(%)	-6.6		



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p>&lt;見直し領域&gt; その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p>&lt;維持領域&gt; 現状の方向を継続</p>
平均	<p>&lt;検討領域&gt; その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p>&lt;強化領域&gt; 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ←	重要度 → 高

調査結果に対するコメント、市民の反応等	今回の意識調査から公民館に対する市民の重要度を見ると、余り必要性を感じていないように思える。普段、活動利用している人から見ると必要であり、新たな利用者を確保することは困難ではないかと思える。また、満足度を見ると、僅かではあるが「ということ」は、職員への対応などにやや不十分な点があるのではないかと思える。意識調査では、次のような事が挙げられている。お菓子を食ベコーヒーを飲み雑談が多い。職員を減らし、緊張感のある職場にした方がいい。公民館など公共施設にいる職員は必要な人数ですか。暇そうに、だらだら半分居眠りをしているように見えます。公民館職員で、仕事をしているように見えない人がいます。仕事に応じて給料を払うべきだと思います。文化講演会は、土日にはできないものか。等々
---------------------	---

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 利用者数	目標	人	138,000.0	138,000.0			3館の利用者数であるが、中央公民館と日生地域公民館は複合館のため、それぞれ市民センター、市民会館の利用者数をあわせている。
	実績	人	101,774.0	125,650.0			
	達成率	%	73.7	91.1			
2 講座の受講者数	目標	人	3,300.0	3,300.0			3館で開催された定期講座の受講者数
	実績	人	2,935.0	2,235.0			
	達成率	%	88.9	67.7			
3 備前市市民センターホール利用者数	目標	人	25,000.0	25,000.0			市民センターと公民館を分けることが困難であり、市民センターホール利用者数のみ計上する
	実績	人	18,868.0	20,271.0			
	達成率	%	75.5	92.9			
4 日生市民会館ホール利用者数	目標	人	15,000.0	15,000.0			日生市民会館と公民館を分けることが困難であり、市民会館ホールの利用者数のみ計上する。
	実績	人	10,861.0	9,297.0			
	達成率	%	72.4	62.0			

